

第22回 たじみ子ども会議から

みなさんへの メッセージ



どんなことを
話し合ったの？

<会議の内容>

10年前のたじみ子ども会議で「10年後の多治見にあなたは暮らしていますか？」というテーマで話し合いを行いました。機械をとおして世界中の誰とでも繋がれる時代だからこそ、対話の大切さを改めて確認しました。「心の居場所」というキーワードで、学校や家の場合でどのような言葉をかけてもらったらうれしいのか話し合いました。

<子ども会議ではどんな意見がでたの？>

例えば...

- ポスターやチラシなどを作成し、色んな所に配布する。
- インターネットで「つばやき」を発信する。
- 「ごめん」より「ありがとう」という考えを広める。
- 自分達ができる事を話す。

「ごめんよりありがとう」って

どんな考えか

前回の会議では「ごめんよりありがとう」という意見がでました。スタッフの体験談では相談した時、「迷惑かけてごめん」より、「ありがとう」と言われた方がいいという事もありましたよ。

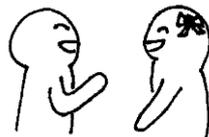
みんなはできてる??

チェックシート

家庭内(できていたら○をつけよう!)

気持ちの良い 言葉使いをする。	
自分の今の気持ちを 伝える。	
当たり前前の事にも 感謝する。	

ともだちや
おうちの人と
つづいてみよう*



身の回りで
「あたたかい言葉がけ」
広めませんか?

1

勉強がんばったのに
テストでいい点か
とれなかつた。

2

どこができなかったの？
わからないところは教えて
から、いつでも開きに
来ようね!

3

テストおつかいさま
残念だったけど、次は
いい点かとれるように
きちんとやり直ししようね。

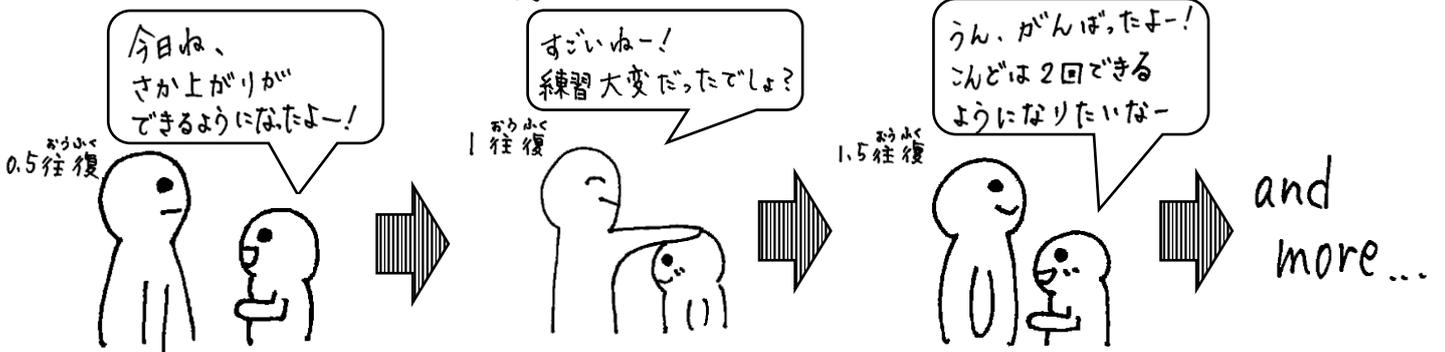
4

あたたかい言葉がけで
「心の居場所」を広げよう

こんな声かけてもらえると嬉しいなー!



おうふく
1.5往復以上の会話を心がけよう!



おうちの人へのメッセージ

わたしたちが家庭で心がけたい取り組みは、気持ちの良い言葉づかいをしたり、やさしい言葉で話したり、当たり前なことにも感謝したりすることです。ご家族から「今日どうだった?」と声をかけてもらったリ、「勉強頑張っているね」と頑張っていることを認めてもらえたりすると、うれしく思います。一方で私たちが心配してあれこれ聞きすぎてしまいうような場面では、時にそととしてほしい、自分の時間を持たせてほしいとも感じています。家族への「ありがとう」という気持ちはみんな持っていますが、はずがしくてなかなか声に出せない」という子どもが多いです。

これからも私たちと一緒にあたたかな言葉にあふれる家族の関係づくりをしてもらうと嬉しいです。ご協力をお願いします。
こちらの記事は、令和2年8月14日に多治見市長へ提出された「第22回たじみ子ども会議」意見書に基づき「たじみ子ども会議☆子どもスタッフ」と一緒に作成しました。

たじみ子ども会議☆子どもスタッフ

&くらし人権課

みなさんも
子どもスタッフ会議に
参加してみませんか?
気軽に来てね!
みんなを待ってます!!

日時:毎月第4日曜日
10:00~12:00
場所:ヤマカまなびパーク
(多治見市豊岡町1-55)
TEL:23-7022

<申し込み・問い合わせ>
多治見市役所(本庁舎) くらし人権課
電話 → 0572-22-1128
FAX → 0572-25-7233
Eメール → kurashi-jinken@city.tajimi.lg.jp

★登録申込書★

ふりがな
名前



学校

学年

住所

電話番号

※この登録申込書をFAX、写真をメールで送る、窓口
持参などの方法でくらし人権課に提出してください。
右上のQRコードからも申し込むことができます。